人間国宝認定30年 金工界で史上最長記録更新中の
匠・奥山峰石 名品約75点一挙公開!!

鍛金家・奥山峰石 米寿記念展

人間国宝
認定30年の軌跡

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

令和7年 8月30日 土 → 9月21日 日 10:00～17:00
※休館日を除く ※初日は13:00～

会 場：北区飛鳥山博物館2階特別展示室・講堂
東京都北区王子1-1-3
休館日：月曜日（祝日の時は火曜日）

入場無料

交 通：JR京浜東北線「王子駅」南口より徒歩5分、東京メトロ南北線「西ケ原駅」より徒歩7分、
東京さくらトラム「飛鳥山停留場」より徒歩4分 ほか

【主 催】奥山峰石
【共 催】山形県新庄市、新庄開府400年記念事業実行委員会、東京都北区、東京都北区教育委員会、（公財）北区文化振興財団
【後 援】新庄市教育委員会、新庄市芸術文化協会、東京都北区美術会、東京都北区伝統工芸保存会、
（一社）王子青色申告会、東京金銀器工業協同組合・伝統工芸士会 【協力】文化庁、東京都
【問合せ】東京都北区総務課総務係 ☎03-3908-8623（平日8:30～17:00）
北区飛鳥山博物館 ☎03-3916-1133（休館日を除く8:30～17:00）

区ホームページ▶

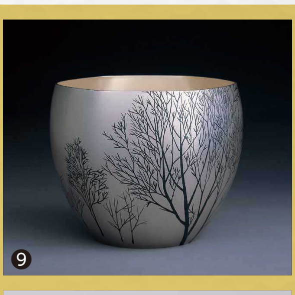
鍛金家・奥山峰石 米寿記念展
人間国宝
認定30年の軌跡

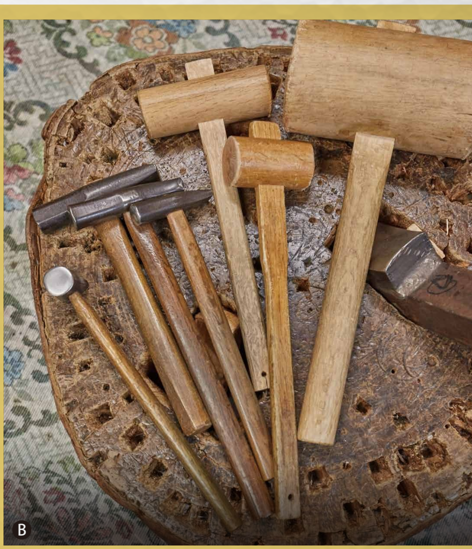
奥山峰石 OKUYAMA, Hoseki

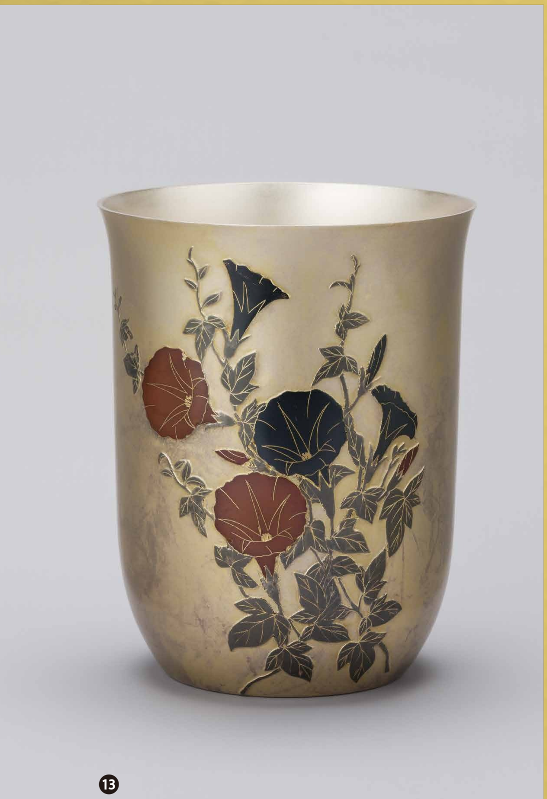
1937年、奥山峰石（本名・喜藏）は山形県最上郡萩野村泉田（現・新庄市泉田）に生まれました。15歳の時に上京し、銀製品の職人として鍛金の技術を習得後、70年以上に亘り「一代一職」という信念のもと創作活動に従事しています。1970年には活動拠点を東京都北区に移し、職人の仕事だけではなく、その技術や技法を芸術作品へと昇華していき、1995年には、重要無形文化財「鍛金」保持者（人間国宝）に認定されました。

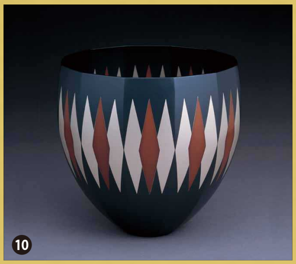
本展では職人から鍛金作家へと歩みはじめた1977年頃制作の《一輪挿し》を48年ぶりに公開するほか、《打込象嵌花器「滝桜 深深と爛慢」》（文化庁蔵）、《切嵌象嵌牡丹文鉢》（東京都蔵）、新庄市と北区等が所蔵する名品約75点を公開し、鍛金家・奥山峰石が歩んできた軌跡を辿ります。金属が放つ優雅な光沢と美しい曲線、熟練を要する手仕事でこそ成し得る匠の技をご堪能ください。

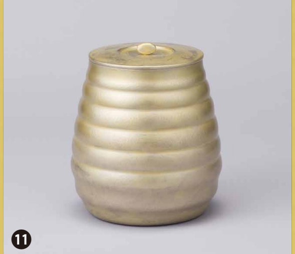
A


❾

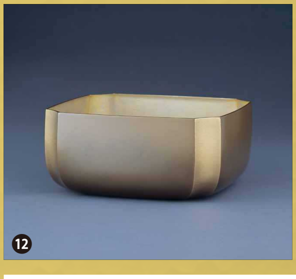

B

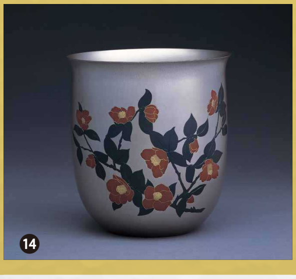

⓭

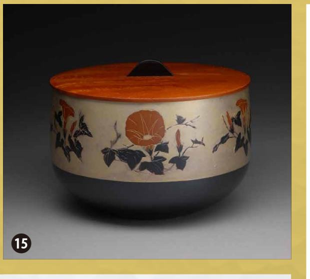

❿

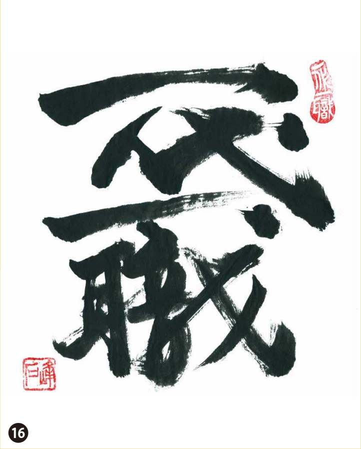

⓫

C


⓬


⓮


⓯



⓰

表面
❶接合せ黄銅鉢　❷打込象嵌紅竹文器　❸切嵌象嵌鉢「春夏秋冬」
❹朧銀菊文鉢　❺打込象嵌花器「滝桜　深深と爛慢」※文化庁蔵
❻四分一菓子器　❼一輪挿し　❽切嵌象嵌牡丹文鉢※東京都蔵

裏面
❾打込象嵌花器「春待 - 2」　❿重菱文切嵌象嵌花器　⓫南鐐箔文様水指
⓬黄銅鉢　⓭接合せ朝顔文花器　⓮切嵌象嵌花器「華椿」
⓯接合せ打込象嵌水指「文月」　⓰奥山峰石書　座右の銘「一代一職」

🅐自宅工房に並ぶ工具「当て金」は1つ1つ削って成形している。
🅑「当て床」に置かれた金鎚、木槌。
🅒用途に合わせた多くの金鎚が整然と並ぶ。